



# 福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2017  
1月18日号156  
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒960-8003 福島市森合字蒲原16-7 TEL/FAX 024(559)1043

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

## 年頭所感



会長 新里 昌一

### 何故、子供の頃は1年が長く感じたのか？

会員ならびに賛助会員の皆様には、日頃から（公社）福島県診療放射線技師会の序行推進にご尽力頂きまして、誠にありがとうございます。新年を迎えるに当たり、お礼を申し上げます。皆様にとって、本年も良い1年でありますようにお祈り申し上げます。皆様のお陰で、会長2年目の今年度も活動を進めています。来年度は、改選の年に当たりますので5月末の総会への参加、もしくは委任状の提出を宜しく願います。

また、1年間が過ぎて行きました。「何故、子供の頃は1年が長く感じたのか？」小学生頃の1年は、もっと長く感じていたはずですが。ふと、皆さんも疑問に感じた事はありませんか？

その答えは、精神科樺沢先生の「ジャーネーの法則」を説明した文章を見て納得しました。主観的に記憶される年月の長さは、年少者にはより長く、年長者にはより短く感じられます。その現象を心理学的に説明したのが、「ジャーネーの法則」です。19世紀に、哲学者ポール・ジャーネと甥の心理学者ピエール・ジャーネが、著書の中で紹介した法則です。まさか、19世紀に解き明かした人がいたとは驚きでした。時間の流れは、全ての人に平等に経過して行きます。でも、生涯のある時期における時間の心理的長さは、年齢の逆数に比例するようです。例えば、50才の人は1年の長さは人生の50分の1ほどですが、5才では人生の5分の1です。そのため、高齢になるほど1年の進みが早く感じてしまいます。私にとっても不思議だった、長年の謎が解けました。徐々に年を取り早く過ぎ去る1年を無駄なく使わないと、会長・技師長・家庭とまわりません。自称はハイブリッド会長ですが、実際はそんなに上手く行きません。数多い課題を不器用に進めているため、不完全な事が多々あり、皆さんにもご迷惑をかけています。この記事を読んでいる皆さんも、時間を有効的に使いましょう。個人的にも、定年まで1年ちょっとになりました。たった1度の人生を、漫然と使うのはもったいないです。社会の急激な変化に対応するため、会員と力を合わせて楽しく取り組みましょう。

昨年は、日放技の参議院選挙に関する政治的な動きに、色々と揺さぶられた感があります。賛否両論はあると存じますが、県技師会は政治色のない活動をこれからも進めて参ります。

今年度の学術大会は、演題数も多く成功裏に終わりました。また県庁との関係では、原子力防災訓練や被ばく相談だけでなく、技師育成の新学部設立でも情報交換を行っています。また、賛助会員へのメリットを増やすため、学術委員会やネットワーク委員会が動いて、県ホームページを更新しています。会員の皆さんには、これからも技師会が身近に感じられるように努力して行きます。

本年も皆様のご健康や幸多い事をお祈りいたします。当会に対する、皆様のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

## 平成28年度 福島県診療放射線技師学術大会

### 《学術奨励賞を受けて》

精度管理委員会

委員長 佐藤政春



この度、精度管理委員会として、学術奨励賞をいただきましたことは誠に光栄であり、今後の委員会活動の更なる励みとなります。

本演題はX線撮影装置始業点検におけるX線出力変動の簡易チェック方法について（photo timerによる簡易チェック）です。始業点検において測定器等を用いることなく、業務の負担とならずにX線出力変動の有無が簡単にチェックできる方法としてphoto timerによる簡易チェックを紹介報告しました。

この方法は当院で2010年から毎日行ってきた方法です。精度管理委員会ではphoto timerにて胸部撮影を行っている委員の施設で平成27年7月から「日管理」、「月管理」を開始し継続しています。1年間の結果を平成28年度の学術大会で報告しました。

精度管理委員会では平成25年度から、アンケート調査ではなく、精度管理の実践的な普及に努めてまいりました。周知のように非接触型X線出力アナライザPiranhaを用いた精度管理です。しかしながらPiranhaは1台しかありませんので年1回程度しか借りることが出来ません。そこで「日管理」、「月管理」に本方法が有用です。さらに年1回Piranhaで測定、確認すれば精度管理としては質の高い管理になると思われま

す。シネフィルムで心血管を撮影していた時代や乳がん検診の精度管理マニュアルでは古くから始業点検時にPhantomを撮影して動作をチェックしていました。アナログの時代からあたりまえに精度管理が行われていたのです。X線撮影装置でphoto timerを備える装置であれば是非本方法を始業点検の項目に入れていただきたいと思っています。

X線装置を管理する診療放射線技師として日常の始業点検・精度管理業務は当然の義務であります。精度管理委員会一同今後も始業点検・精度管理を継続して行います。新たな知見が出てきたら報告したいと思

(公財) 星総合病院

続橋順市



平成28年度福島県診療放射線技師学術大会において学

術奨励賞を賜りとても光栄に感じております。これも偏に新里会長を初めとする福島県放射線技師会の皆さまと、研究に携わって頂いた方々からのご指導の賜物であります。改めて感謝申し上げます。

福島県診療放射線技師学術大会は新里会長を初め実行委員のご尽力により、他地域の学術大会より盛会だと感じております。会員が日頃の研究成果を発表し、会員同士が知識を共有しあえる場所とし今後の更なる発展を切に望みます。

また、この学術大会が若手の登竜門としての役割を担う事も重要であると考えます。学術大会で発表することを掲げて研究・実験方法を学び、プレゼンテーションスキルを身に付け、多くの福島の診療放射線技師が全国に発信できる足掛かりの場となってもらえればと思っております。

最後になりますが、学術発表は自分に何かを残してくれます。知識はもとよりそれは自信だったり、次への意欲だったり。もしかしたら失望感かもしれませんが、しかしそれら全てが自身を成長させてくれます。そしてその成長が患者のためになるのです。

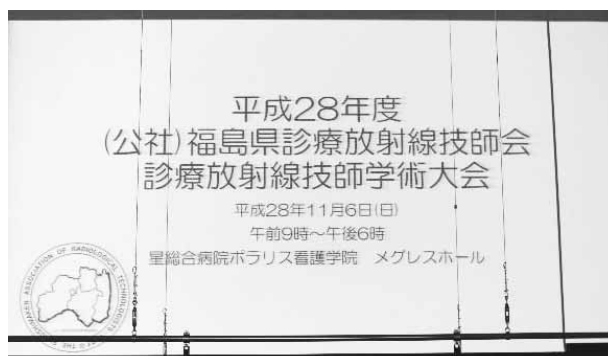
もう一度言います。皆さん学術発表をしましょう。

### 《学術大会感想記》

感想記

県立南会津病院 平塚幸裕

今年度の県放射線技師学術大会が、建物の周りの木々が色づく星総合病院メグレズホールで開催されました。



一般講演（福医大・大谷先生）やランチョンセミナー（聖マリアンナ医大・松本純一先生）はツボをおさえたわかりやすい内容で、日常生活や業務にとっても役立つものでした。記憶に定着しにくい今日この頃、資料などあれば助かるなぁと思いました。

最近の発表は、演題数も多く内容も広がりを見せています。目を引いたのは最近話題の大腸CTに関するもので、とても地道な作業を繰り返して結果を導きだしているもの、予想とは違う結果になってしまったといった内容のものも興味深かったです。ほとんどの演題に会場から質問があり発表者にもとても励みになっていると思います。学術大会というやや敷居が高いかなという気もしますが、多くは業務の中にある小さな工夫の発表なの

で、参考になる他施設のアイデアでいっぱいです。精度管理委員会や放射線管理士部会からも多くの発表がありもっと聞きたかったのですが、明るいうちに帰宅の途につきました。

最後に、お昼のお弁当。おいしいです！無料です!!これを目当てに行くわけではありませんが、毎年当日になると自然と頭に浮かんできます。



(第一三共さん協賛のお弁当)

#### 感想記

福島県立医科大学附属病院 樫 勝幸

11月6日、郡山の星総合病院ポラリスのメグレズホールで福島県診療放射線技師学術大会が開催されました。例年、注目度の高い一般公開講演では福島県立医科大学整形外科教授の大谷晃司先生のお話を聞くことができました。先生は、最近よくテレビにも出演され腰痛治療の名医として活躍されています。中身も一般向けでおもしろく、腰痛についての簡単な対処法などとても参考になる内容でした。



(講師：大谷晃司先生)

もう一つの注目講演であるランチョンセミナーでは、救急医療で有名な聖マリアナ医科大学の松本純一先生による急性腹症の画像診断についてお話がありました。症例ごとに所見のあるCT画像と対比しながらの講演であり、我々技師にとって大変勉強になる内容でした。大会のメインである学術発表では大腸CTに関する内容とフラットパネルの散乱線除去処理に関する内容が複数の施設から演題があり、今後県内でも広まっていく内容なのかと感じました。全体としては各分野において偏りも少なく、活発な質疑応答が行われた印象でしたので、とても有意義な大会であったと思いました。

#### 感想記

会津医療センター 泉田健介

今回、学術大会に参加し、ランチョンセミナーでは聖マリアナ医科大学救急医学講師松本純一先生から夜間や救急時のCT読影での病気や画像読影のポイントを教えてもらい、撮影をして終わりではなく、よりよい読影力をつけていきしっかりと読影ができるようにしていくことが大事だと感じました。救急時には教えていただいた内容を見落とさないようにし、しっかりと読影を行っていきたいです。



(講師：松本純一先生)

発表者の方の研究発表は一つ一つがとても勉強になりました。私の勤めている病院では行っていない検査などもありましたが、日常の業務に取り込めることは取り込んでいき日常の業務をよりよいものにするために活かしていきたいと思います。

### ～会長「オンレコ」～

#### ◇ 福島医大に新設する 技師養成学部について

平成32-33年頃に設立予定の県内初の技師養成学部について、県技師会として応援しています。以前より日放技とも連携して、4年制である事で了承を得ています。設立に関しては、県内の学位のある技師を先生として採用したいとの話でも合意しています。

専門学校が勝手に技師養成学部を3年制で設立するのは違い、教育機関として設立されます。将来的には、大学院も設立して頂き県内技師が通えるようにとの希望もあります。

今回、匿名で会長宛に新学部に対抗する意見が届きました。私1人の意見で進めているように記載があります。隣接する各県でも新設する養成学校があり、技師が余る＝雇用の悪化と不安を持っている会員もいるかも知れません。

定員は、臨床検査技師等は40名ですが、臨床放射線技師は25名です。現在の臨床検査技師の道を辿ると思いません。

会員の皆様には、ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

## 地区だより

### 県南地区

#### 新年勉強会

福島県内における大腸CTの現状  
～運用までの経緯と検査成功の秘訣～

日 時：平成29年1月28日(土) 14時より  
場 所：ビッグアイ 7階 会議室

県内にて、先駆的に検査を実践されている施設担当者をお招きし、上記テーマに沿った内容での勉強会です。「これから始めようとしている方」、「こんな事、あんな事で困った」など成功の秘訣・ヒントが、きっと得られる勉強会になります。事前申し込み不要です。地区外の会員諸兄もお待ちしています。

#### 新年情報交換会

日 時：平成29年1月28日(土) 18時より(予定)  
会場、会費は未定です。

「新年勉強会」案内に「情報交換会のご案内」を同封しますので、詳細は、そちらでご確認ください。勉強会後の情報交換は、盛り上がりそうです!!なお、事前申し込みが必要となります。

お問い合わせ：県南地区協議会事務局 山口 大  
寿泉堂総合病院 放射線部  
TEL：024-932-6363(代)

### 浜通地区

#### 第29回いわき地区画像研究会開催

平成28年10月28日グランパークホテルパネックスいわきにて、「心臓CTについて」と題し、仙台厚生病院 加賀喜裕先生に講演していただきました。

#### 心臓CT検査のやり方

心臓の動きの少ない画像を撮影するために薬の特徴を理解して使う。

#### 新しい心臓CTの検査

冠動脈のサブトラクションの撮影の工夫。

印完全なサブトラクションは存在しない。



(研究会の様子)

ADCT研究会などに発表し、表彰されるだけありとても貴重な講演を聞いて大変勉強になりました。

#### 業務拡大に伴う統一講習会開催

11月28日～11月29日の2日間市立総合磐城病院にて行いました。

この講習で、業務拡大に向けてのレベルがアップしたと思います。



(講習会：これまでで最も多い参加者でした)

参加の皆様ご苦勞様でした。この開催にあたりお手伝いいただいた方には大変感謝しています。ありがとうございました。(菅原)

### 県北地区

#### 平成28年度県北地区協議会

#### 勉強会及び新年交流会のお知らせ

#### 勉強会

「講演テーマ：FPDについて」

日 時：平成29年2月11日(土) 午後3時～

会 場：福島テルサ 4F「月の輪」

講演者：コニカミノルタ株式会社

フジメディカル株式会社

キャノンライフケアソリューションズ株式会社

#### 新年交流会

日 時：平成29年2月11日(土) 午後4時30分～

会 場：福島テルサ 2F レストラン

会 費：4,000円

奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

## 編集後記

あけましておめでとうございます。自分は今年で37歳になるのですが、去年の暮れ、生まれて初めて人間ドックに行ってきた。なかなか疲れましたね～。特に内視鏡はきつかったです。最初右の鼻からやったんですが、鼻腔が狭かったらしく、「痛いわ」、「苦しいわ」で泣きそうになりました。結局右鼻は断念して、次は左鼻からぶち込んで何とか検査することができました。終わってから右鼻からは鼻血がファイアーして止まらず恥ずかしい思いをしちゃいました。患者さんの検査を受ける時の緊張、辛さを知ることができるなかなか貴重な体験でした。

って、ことで今年も健康第一でがんばりましょー！

皆様にとって素晴らしい2017年になりますように。

(浅川)